

2018年9月20日

No. 6 1 1

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
antei1@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤 純一
印刷所 (株) 第一印刷

第59回県農業表彰式開催される 畜産で3経営体が農業十傑に



内堀知事と五十嵐夫妻

第59回県農業表彰式が9月7日、杉妻会館で行われ、農業十傑として喜多方市の株式会社五十嵐ファーム、白河市の条井勇一さん、浩子さん夫妻及び福島市のミネロファーム（NPO法人福島農業復興ネットワーク）が選ばれ、五十嵐ファームは農林水産大臣賞、ミネロファームは復興・創生特別賞に輝きました。

農林水産大臣賞を受賞した五十嵐ファームは肉用牛経営

で、五十嵐貞雄さん、早紀恵さん夫妻が繁殖牛、父健一さん、母松代さん夫妻が肥育牛の飼育をしています。現在の経営規模は、繁殖雌牛約65頭、肥育牛約50頭で、積極的な機械化や先進技術の導入による経営改善等が高く評価されたところです。

農業十傑に選ばれた皆様の一層の経営発展と地域農業への貢献を御期待申し上げます。



復興・創生特別賞のミネロファーム



農業十傑に選ばれた条井夫妻

(写真提供 福島県農林水産部農業担い手課)

第25回ふくしま酪農まつり開催!!

悪天候の中での開催となりましたが
沢山の来場者が楽しみに来てくださいました

福島県酪農業協同組合



第25回ふくしま酪農まつりを9月9日(日)にあづま総合運動公園内の木陰広場で開催いたしました。当日は、雨の中での開催となりましたが、“酪農まつり”を楽しみにしていたお客さんが続々と訪れて、子供たちのにぎやかな歓声と、スペシャルゲスト“MANAMIちゃん”の歌声が会場いっぱいに響きわたっていました。

酪農家ならではの催しとして毎回大人気な、本物の乳牛での搾乳体験と仔牛とのふれあいコーナーは、雨の中でしたが、子供たちは楽しんで体験しており、子供たちの貴重な体験となったのではないかと思います。



メインステージ「MANAMIちゃんのライブ&トークショー」では、安斎洋志さんがMANAMIちゃんと楽しいトークを繰り広げ、

「初めて牛に触れて、搾乳体験した〜♪」、「カフェオレ釣りをやってみたい〜♪」など、沢山お話をして、会場はライブの前から盛り上がりおりました。

毎年恒例の乳搾り大会や牛乳早飲み競争では、子供から大人までステージ上で白熱し盛り上がりおりました、カフェオレ釣り、射的、輪投げゲームは最後まで長蛇の列が出来ていました。



会場内ではスケッチコンテスト、酪王牛乳パック帽子作り、酪王カフェオレ飲み比べ、牛乳乳製品販売、パネル模擬搾乳体験、パノラマ牛太郎、骨密度測定、更に飲食ブースには、おぎくぼ舎(福田正幸さん・祐子さん)にも出店して頂き、酪農まつりを大いに盛り上げて頂きました。

ふくしま酪農まつり開催に向けては、何度も酪農まつりの会議を開催し、今年はどんなことをやろうか〜?? こんなのをやってみよう〜!! と、当日を迎えるまでの3ヶ月間、酪農まつり実行委員・県北支所を中心に、様々なアイデアを出しながら準備してきましたので、悪天候の中での開催でも、開催できた安堵感と、私たちが想像していたよりもお客さんが多く来て下さったという安心感にほっとしております。

会場準備から開催当日まで、悪天候の中ご協力いただきましたスタッフの方々へ感謝を申し上げます。



御用命は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎(024)36312488

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎(024)55316678

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山市安積町笹川字平の上一
☎(024)94511306

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五十一
☎(024)5267303

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五十一
☎(024)57731122

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台18-12
☎(024)6312488

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休薬期間を
厳守しましょう』

平成31年度畜産関係予算等を県知事に要望

県畜産関係団体連絡協議会（構成18団体）は、9月14日に内堀雅雄県知事を始め、県農林水産部長並びに県議会等に対し、来年度に向けて畜産関係予算編成の要望を行いました。

要望には県畜産関係団体連絡協議会宗像実会長を団長とし、JA福島中央会、JA全農福島、県酪農協、県農業共済組合、（公社）県獣医師会及び（公社）県畜産振興協会が出席しました。

畜産を取り巻く情勢は、避難休業を余儀なくされた区域において、避難指示解除が段階的に進んでいますが、避難生活の長期化により生活基盤が定着化するなど、畜産農家の帰還による経営再開への道筋は、未だ不透明であり、更に本県は東日本大震災からの復興・再生の途上ですが、本年7月にはEUとの経済連携協定（EPA）に署名するなど、先が見通せない将来への不安や戸惑い、さらには飼料をはじめとする生産資材の高騰など、厳しい経営環境から離農に歯止めがかからず、県内の生産基盤は、かつて経験したことのない非常に厳しい状況にあります。

加えて、脆弱化した生産基盤等の再構築を図るとともに本県の将来を見据え、夢と希望を抱いて安心して経営の再開並びに次世代へ継続できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していくことが喫緊の課題であり、これらを踏まえて、以下の要望をしました。

1 畜産生産基盤の維持再生対策

避難休業を余儀なくされている被災畜産農家の経営再開や意欲ある担い手の確保育成に向け、生産基盤である家畜の導入や施設・機械の整備等に対し、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）を活用するなど経営体質の強化、また、飼料・資材等の高騰による、収益性は悪化や経営者の高齢化、後継者不足により、取り巻く環境は厳しい状況下にあり、大震災により脆弱化した生産基盤の再生に積極的な対策。

- (1) 酪農生産基盤回復および酪農振興対策
- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 避難休業畜産農家経営再開支援対策
- (4) 次世代を担う若手農業者の育成対策

2 自給飼料生産基盤回復対策

放射性物質の拡散により中山間地を中心に除染後も放射線量が低下しない場合や再び暫定許容値を超える草地など、安定的な自給飼料の生産利用が難しい状況が依然として続いており、除染が困難な牧草地等の回復に向けた対策の強化および遊休農地等を利用した飼料作物の生産にあたり、土地の集約・再生並びに営農が再開された



地域における生産組織等が行う自給飼料の生産、利用に対する総合的な支援。

3 堆肥等の処理・流通対策

安全性が確認されたものの風評等により畜産農家に滞留している堆肥については、堆肥散布の助成や流通・マッチングにより、広域的な有機性資源の循環利用及び地力改善を促進し、また、農地除染後の地力回復を図るため積極的な利用を推進するなど、早急に滞留堆肥の解消に向けた対策。

4 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

県の肉用牛放射性物質全頭検査や畜産物モニタリング検査に加え、生産団体による自主検査で安全性を担保しているにもかかわらず、消費者等にその取組みが十分に伝わらず、適正な評価を得られない状況が続いており、知事によるトップセールスやマスメディア等を有効に活用し、消費者のみならず流通・小売業者等に対し、検査体制・内容等の更なる周知に努めるなど、風評払拭のための対策の継続、また、本県産畜産物の風評払拭と福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得およびHACCP導入に向けた、きめ細かな支援。

5 魅力ある種雄牛造成

地域の魅力ある産地形成及び生産基盤の維持、拡充を図るため、優良な基礎雌牛の整備により繁殖基盤を強化するとともに、「福島牛」のブランド強化及び風評の払拭のためにも全国に発信できる種雄牛造成が急務であり、科学的手法を活用し、これまで以上に基幹種雄牛造成への取組強化。

6 産業動物診療獣医師の確保定着対策

本県の家畜疾病・衛生対策や食の安心・安全を支えている産業動物診療獣医師の高齢化が進み、加えて、新卒・新規参入者不足により適切な産業動物診療体制の堅持が困難な状況になっていることから、本県畜産業の維持発展に不可欠である産業動物診療獣医師の確保、定着に向け、より一層きめ細かな支援。

●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

肉用牛への圧ぺん玄米の給与実証試験

福島県農業総合センター畜産研究所 沼尻分場

1 はじめに

我が国の畜産業は飼料の大部分を輸入に頼っており、平成28年度概算の飼料自給率は27%にとどまっています。また、近年、国際的な穀物の需要増加に伴い、穀物の国際価格は上昇しており、配合飼料価格の高騰から畜産経営を圧迫している状況となっています。このため、自給飼料を利用することにより、配合飼料や輸入乾草の削減を図り、経営の安定化につなげていくことが必要です。

一方、主食用米の需要量が年々減少している中、水田の多様な利活用が進められていますが、飼料用米については各種助成等により、その生産拡大が図られているところです。この飼料用米はトウモロコシ等の配合飼料の原料と成分組成が同等であり、さらに、比較的安価であることから畜産経営における飼料費の削減に効果的です。

当場においても、肉用牛への飼料用米の利用方法について試験に取り組んでおり、「黒毛和種の離乳から出荷までの一貫肥育体系における圧ぺん玄米30%の配合飼料代替給与技術（平成25年度 研究成果）」等の成果をあげています。

今回は、飼料用米の給与技術をさらに普及する目的で、県内の黒毛和種肥育農家において実証試験を実施しました。

2 試験の概要

「黒毛和種肥育農家において配合飼料の20%は圧ぺん玄米で代替できる（平成29年度 研究成果）」

(1) 試験方法

試験農家：黒毛和種肥育農家7戸

試験頭数：肥育牛30頭

（去勢肥育牛25頭、雌肥育牛5頭）

給与方法：配合飼料の現物重量比で20%を圧ぺん玄米で代替して給与（写真1）

※圧ぺん玄米とは、玄米の消化吸収を良くするために高温の蒸気で蒸した後、ローラーで潰して加工した飼料のこと（写真2）



写真1 給与の状況



写真2 圧ぺん玄米

(2) 試験結果

○去勢肥育牛及び雌肥育牛に給与する配合飼料の20%を圧ぺん玄米で代替しても、飼料摂取の状況・増体（推定体重）は良好でした（図1）。

○枝肉成績は、全ての枝肉形質で差はなく良好でした（表1、2）（写真3）。

○配合飼料の20%を圧ぺん玄米で代替すると、配合飼料の単価を1kgあたり平均4.3円削減でき、肥育期間中の1頭あたりの配合飼料費を17,000円程度削減できました（表3）。

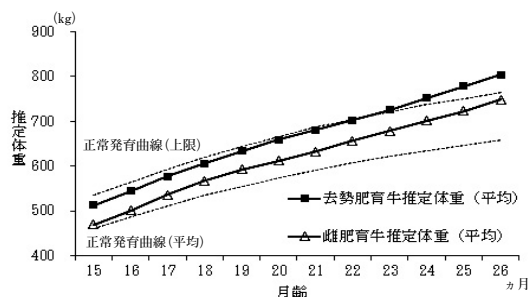


図1 去勢肥育牛及び雌肥育牛の推定体重の推移

注1 推定体重＝ $0.003679 \times (\text{胸囲} + \text{腹囲})^2 - 121.103$
（熊本県農業研究センター 研究成果（平成26年度））

注2 正常発育曲線（（公社）全国和牛登録協会発刊（平成16年））
雌肥育牛の正常発育値はないため、去勢肥育牛のみ表示

表1 去勢肥育牛の枝肉成績

区	出荷 月齢	枝肉形質					BMS No
		枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	
圧ぺん玄米区	29.4	538.5	65.2	8.7	2.7	74.5	8.1
25頭	± 1.4	± 38.6	± 13.4	± 0.6	± 0.7	± 2.3	± 2.5
慣行区	30.0	543.8	67.8	8.7	2.6	74.9	7.7
86頭	± 1.3	± 66.8	± 11.9	± 1.0	± 0.8	± 1.8	± 2.1

注1 平均値±標準偏差

注2 慣行区は試験農家の平成28年度における枝肉成績

畜 産 福 島

表2 雌肥育牛の枝肉成績

区	出荷 月齢	枝肉形質					
		枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	BMS No
庄べん玄米区	29.4	489.7	62.6	8.3	3.0	74.3	6.2
5頭	± 1.2	± 47.7	± 12.4	± 1.0	± 1.0	± 2.1	± 2.4
慣行区	29.2	454.3	57.3	7.7	2.8	73.8	6.1
16頭	± 1.0	± 63.8	± 11.1	± 1.0	± 1.0	± 1.7	± 2.3

注1 平均値±標準偏差
注2 慣行区は試験農家の平成28年度における枝肉成績

表3 肥育期間中1頭あたりの配合飼料費

(単位:円、税込)

	配合飼料+庄べん玄米 (20%)	配合飼料
平均	230,631 ± 31,171	247,908 ± 33,506

注1 「配合飼料」価格は試験農家7戸の平均 税込単価 61.7円/kg

注2 庄べん玄米 税込単価40円

(玄米:18.36円/kg、加工・輸送代等:21.64円/kg)

注3 配合飼料+庄べん玄米20% 税込単価57.4円/kg

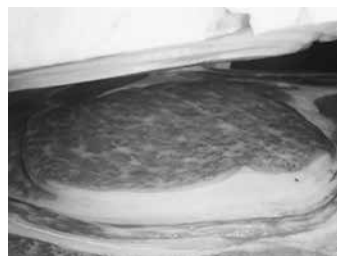


写真3 試験牛の枝肉

血統:美津百合×安福久×平茂勝
枝肉重量514kg、
ロース芯面積120cm²、BMSNo12

3 利用上の留意点

- 配合飼料の20%を庄べん玄米で代替給与する際は、約1ヵ月間かけて徐々に庄べん玄米の給与量を増やして下さい。
- 配合飼料と庄べん玄米の摂取量に偏りがないよう十分に混和して給与して下さい。
- 飼料用米にはビタミンAがほぼ含まれていないため、ビタミンA欠乏症に留意して下さい。

農業短期大学校（アグリカレッジ福島）平成31年度 学生募集



来たれ アグリカレッジ福島へ 学生募集中!

福島県農業総合センター農業短期大学校では、実践的な農業の技術力と経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成するため、次のとおり学生を募集します。

詳細につきましては、農業短期大学校ホームページをご覧ください。農業経営部入試担当（電話0248-42-4113）までお問い合わせ下さい。

募集人員	願書受付期間		試験日
農業経営部60名(修業年限2年) 〔内訳〕 水田経営学科15名程度 野菜経営学科15名程度 果樹経営学科10名程度 花き経営学科10名程度 畜産経営学科10名程度	推薦入試		平成30年10月1日(月)～10月5日(金)
	一般入試	前期	平成30年11月12日(月)～11月16日(金)
		後期	平成31年1月15日(火)～2月1日(金)
			平成31年2月15日(金)

肉用子牛のための「強化」哺育専用代用乳」ができました!!

カーホップEX ブラック

“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL:0243-33-1101(代)

第30回東北地区牛削蹄競技大会開催 本県の高野選手、武藤選手が全国大会へ

福島県装蹄師会

東北地区牛削蹄競技大会は、削蹄師の削蹄技術の向上と牛の能力増進に資することを目的として、毎年各県持ち回りで開催されています。第30回東北地区牛削蹄競技大会（東北地区装蹄師会主催）は、8月28日青森県上北郡七戸町の青森県家畜市場で開催され、東北6県から各県予選を勝ち抜いた18名の選手が参加しました。選手は、削蹄判断と削蹄競技の2部門で日ごろの技を競い合い、本県から出場した高野智徳さん（安達支部）が総合4位、武藤稔貴さん（安達支部）が総合5位に入賞しました。

今大会の優勝者は山形県の遠田明広さん、準優勝は岩手県の岩渕孝幸さんでした。また、3位と6位も山形県の選手で、全国大会出場の選手6名のうち山形県が半数を占めました。各県3名の総合得点により競う団体戦は山形県が優

勝しました。

入賞の上位6名は、11月8日に茨城県水戸市の農業生産法人有限会社瑞穂農場鯉淵分場で開催される第60回全国牛削蹄競技大会に出場することとなります。

削蹄競技終了後は、服部美生男氏より「牛削蹄判断の見方について」の講習会が開催されました。多数の削蹄師が熱心に聴講し、活発な討論が行われていました。



削蹄競技中の高野選手



全国大会出場を決めた受賞者たち
(右から4人目が高野選手、5人目が武藤選手)

うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN出展

～「第13回農業総合センターまつり」～

福島県農業総合センターの研究成果や施設を広く公開し、農業への理解を深めることを目的として、平成30年9月7日～8日に「第13回農業総合センターまつり」が開催されました。

時折小雨が降る天気でしたが、大人から子供まで多数の来場者がありました。（来場者数のべ3,800人）

マザーズクラブでは、3度目の出展となる今回、10周年記念の限定販売「牛肉のゴロ煮」と贈答用パッケージが完成したため、詰合せセットを初めて販売するなど、新商品を携え充実した品揃えとなりました。

前日食べたお客様が翌日、家族連れで食べに来てくれたり、子供が「おいしかったよ。ごちそうさまでした。」と伝えに来てくれたりするなど、励まされることが多く、うれしい2日間となりました。

レトルト袋からゴロゴロと出てきた牛肉に見とれたお客様や、大きくて柔らかいお肉のファンになってくれたお客

様に支えられ、昼食用に準備した「マザーズシチュー」と「おもてなしカレー」150食は、完売となりました。

イベントへの出展を通じ、お客様のいろいろな声を聴く機会となりますので、今後も積極的に活動して商品のPRに努めたいと改めて感じました。今後も応援よろしくお願いいたします！



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

第31回みつばち慰霊祭

福島県養蜂協会

第31回みつばち慰霊祭が8月3日会津若松市の鶴ヶ城公園内みちばちの杜公園で執り行われました。

長沼久雄 会長のあいさつ、鈴木賢一郎 元会長の献花の後、満福寺住職による読経の中しめやかに会長、副会長、来賓の会津森林管理署、会津家畜保健衛生所、農林水産部畜産課、会津若松市、福島県畜産振興協会、会員などの多数の出席者が焼香をしました。

みつばちの杜公園は造成から30年余りが経ち、緑豊かな公園は市民の憩いの場となっています。当日は晴天に恵まれ気温も上がりましたが緑豊かな公園内は時折心地よい

風が吹き抜け、参加者達はみつばち達からの恩恵に感謝し、犠牲になった小さな御霊に合掌しました。



第31回福島県はちみつ品評会、展示即売会

福島県養蜂協会

福島県養蜂協会主催、福島県、(一社)日本養蜂協会、(公社)福島県畜産振興協会の後援で第31回福島県はちみつ品評会が8月24日に福島県農業総合センターで開催されました。

はちみつ品評会は養蜂家の採蜜技術の向上とはちみつの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的に毎年開催され、本年は39会員から113本のはちみつが出品されました。

審査は事前に糖度を測定し、トチ蜜、アカシア蜜、その他蜜の3区分で7名の審査員（審査長：福島県畜産課白石芳雄課長、日本養蜂協会柳下浩幸理事、福島県畜産振興協会宗像実会長、日本はちみつマイスター協会池田裕子理事、福島県食品産業協議会池田善一副会長、福島県消費者団体連絡協議会高野イキ子理事、福島県養蜂協会会長沼久雄会長）が色沢、風味の審査を行い以下の13の賞を決定しました。（別表のとおり）

賞 区 分	花 名	氏 名	市 町 村
農 林 水 産 大 臣 賞	トチ	松 本 高 明	会津若松市
福 島 県 知 事 賞	アカシア	三 浦 豊 一	喜多方市
福 島 県 議 会 議 長 賞	百花	時 任 真由美	三島町
福 島 県 議 会 議 長 賞	アカシア	杉 村 杉一郎	天栄村
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	トチ	佐 藤 一 幸	猪苗代町
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	山桜	池 澤 洋 一	白河市
日 本 養 蜂 協 会 長 賞	百花	結 城 安 治	福島市
福 島 テ レ ビ 社 長 賞	アカシア	松 岡 休 助	郡山市
福 島 県 畜 産 振 興 協 会 長	トチ	渡 部 光 義	会津若松市
福 島 県 畜 産 振 興 協 会 長	アカシア	須賀川ふると創生倶楽部合同会社	須賀川市
福 島 県 養 蜂 協 会 長	アカシア	鈴 木 友 康	磐梯町
福 島 県 養 蜂 協 会 長	山桜	山 田 雄 一	下郷町
福 島 県 養 蜂 協 会 長	柿	丹 治 章	福島市

昨年から設けられた農林水産大臣賞には会津若松市の松本高明氏（松本養蜂総本場）のトチ蜜が選ばれました。トチ蜜は福島県では会津地方でのみ採蜜されるため出品数は多くはありませんでしたが、上位入賞したものは色沢に優れ、特に良食味なものでした。

また、出品されたはちみつは9月7日、8日に開催された第13回福島県農業総合センターまつりで展示即売をしました。

毎年品評会の出品はちみつを楽しみにしてくださる方も多く、初日は平日にも関わらず売り切れのはちみつが出るほどの盛況でした。

まつり期間中は全7種類のはちみつの試食も行われ、県産はちみつの種類の多さ、美味しさを発信する良い機会となりました。



はちみつ品評会



はちみつ展示即売会

福島の大自然とみつばちからの恵み

天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地（福島県畜産振興協会内）

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしい
はちみつはいかが！

家畜取引状況報告

平成30年7～8月和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販売先	
			最高	最低	平均				県内	県外
7	雌	300	1,505,520	329,400	706,262	291	2,424	289	149	151
	雄									
	去勢	433	1,246,320	219,240	793,738	306	2,512	281	177	256
	計	733	1,505,520	219,240	757,936	300	2,478	284	326	407
8	雌	281	1,698,840	260,280	754,639	287	2,631	284	117	164
	雄									
	去勢	390	1,213,920	426,600	838,050	311	2,696	277	182	208
	計	671	1,698,840	260,280	803,119	301	2,670	280	299	372

平成30年7～8月乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込み）

開催月	種別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
			最高	最低	平均
7 第273回	ホル雄	72	248,400	24,840	207,570
	ホルフリー	3	167,400	76,680	128,520
	F ₁ 雌	81	376,920	165,240	289,987
	F ₁ 雄	67	396,360	201,960	358,753
	和牛雌	4	480,600	449,280	471,420
	和牛雄	18	678,240	378,000	595,380
	和牛去勢				
	計・平均	245	678,240	24,840	307,994
8 第274回	ホル雄	49	230,040	11,880	172,205
	ホルフリー	2	91,800	15,120	53,460
	F ₁ 雌	42	293,760	1,080	235,543
	F ₁ 雄	70	402,840	43,200	318,677
	和牛雌	5	470,880	426,600	455,976
	和牛雄	16	686,880	501,120	599,198
	和牛去勢				
	計・平均	184	686,880	1,080	285,936

平成30年7～8月乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	資格	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最高	最低	平均		
7	乳登	2	406,080	380,160	393,120		
	妊娠牛	1	798,120	798,120	798,120		
	E T 和雌	4	482,760	439,560	464,400	5,248	89
	E T 和雄	3	650,160	565,920	622,080	5,887	106
	乳雌牛	1	32,400	32,400	32,400	540	60
	乳雄牛	31	224,640	31,320	136,916	1,899	72
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)						
	F ₁ 去(育成)						
	F ₁ 雌(スモール)	44	292,680	86,400	261,262	3,879	67
	F ₁ 雄(スモール)	55	411,480	5,400	331,815	4,557	73
	計・平均	141	798,120	5,400	278,939	3,959	70
8	乳登	1	351,000	351,000	351,000		
	E T 和雌						
	E T 和雄	5	623,160	399,600	479,952	4,478	107
	乳雌牛						
	乳雄牛	30	206,280	127,440	173,736	2,472	70
	乳去勢子						
	F ₁ 雌(育成)	1	339,120	339,120	339,120	1,190	285
	F ₁ 去(育成)	12	513,000	171,720	410,490	1,213	339
	F ₁ 雌(スモール)	45	285,120	151,200	224,472	3,306	68
	F ₁ 雄(スモール)	64	387,720	119,880	304,695	3,874	79
	計・平均	158	623,160	119,880	271,074	2,840	95

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね

県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地

Tel 024-573-0515

Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

(10月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
ニュートラック 福島	盛岡	笠松		船橋		盛岡		大井		大井		大井		盛岡	川崎		笠松		盛岡		浦和		浦和		大井		盛岡	名古屋		大井	
オーブス磐梯	船橋		船橋		船橋		大井		大井		大井		大井		川崎		川崎		大井		大井		浦和		浦和		大井		大井		

(11月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
ニュートラック福島	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井
オーブス磐梯	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井	大井

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会